

世界の学びと働き方を変える対話型診断AIエージェントの実現

～人と共に進化するAIプラットフォーム～

【研究開発方針: エキュメノポリス(EQU) AI Platform】

- EQU AIプラットフォームは、あらゆる「**学び・働き方・ケアの現場**」において、人間の成長を導く社会インフラとして機能する未来を描く。
- EQU AIプラットフォームは、「**対話型能力診断**」に特化したマルチモーダル会話AIエージェントをコアとし、ネットワーク、多数同時配信まで含めたトータルの対話品質を管理する。
- 対話体験対応サービス拡大のため、品質評価指標を策定し、**国際標準化**を目指す。将来的には語学診断・訓練だけでなく、医療・行政などよりリスクの高い意思決定、対話体験を目指す。



(株)エキュメノポリス
CEO 松山洋一氏

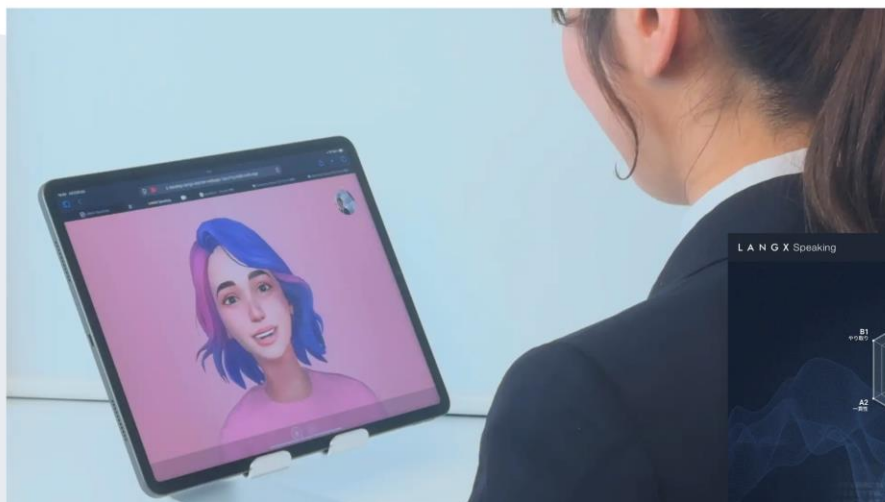
EQU Roadmap | 2022 - IPOまでのロードマップ

Seed (2022-2024)	Pre-Series (2025-2026)	Series A / B - (2027-)
LANGX ローンチ	EQU AI Platform の開発	多ドメインへの本格展開
「LANGX Speaking」を初の対話型AIアプリケーションとしてローンチし、早稲田大学から主要大学や中学高校へと展開	LANGXを日本での主要なAI言語学習ソリューションとしてのブランドを確立しつつ、製品開発を加速するためにEQU AI 対話型診断・学習支援AIエージェントプラットフォームを強化	教育、職場、その他の分野でサービスを本格展開し、各領域で戦略的パートナーシップを深化させるとともに、対話型診断AIエージェントにおける世界的な市場リーダーシップを確立

【製品・サービスの実績: オンラインAI英会話 LANGX】

<https://www.youtube.com/watch?v=xYITmyQIW14>

- **エンドユーザ数:** 自治体(公立・私立学校)、大学(早稲田大学など)などで採用多数。潜在的には**全世界で数十万から数百万人のユーザ**が実証実験、製品購入により体験済み。
- **ユースケース:** クラス分け能力診断、テスト、レッスン、トレーニング後の能力伸長の判定などに利用。実際にユーザの語学会話能力の伸長に実績を上げている。



オンラインAI英会話レッスン

Realistic conversational tasks

University Customers



スピーキング能力判定

Your strength and weakness



学習フィードバック

For skill improvement

Local Governmental Customers



Governmental Supporters



【技術：英会話能力判定・学習支援】

- **自然な会話:** ユーザーの返答内容などの言語的な情報に加え、声の調子や表情などの**非言語的な情報を読み取り**ながら、まるで人間と話しているように、インタラクティブでスムーズな会話を実現する。
- **ダイナミックな話題展開:** ユーザーの潜在能力を引き出すために**リアルタイムに推定される英会話能力のレベルや理解状態**に合わせて、簡単な話題から複雑な社会問題まで、パーソナライズされたストーリーで会話を幅広く展開することができる。

1. Natural Interaction

Eliciting latent skills and needs



IntelLA

Agent naturally draws out the **user's latent abilities and needs** through face-to-face conversations.



2. Diagnostic Assessment

promoting learner's growth



Gnowsis

The assessment model analyzes the users' **strengths and weaknesses** of current skills and suggests the next steps to take.



3. Curriculum Generation

based on diagnostic & learning goals



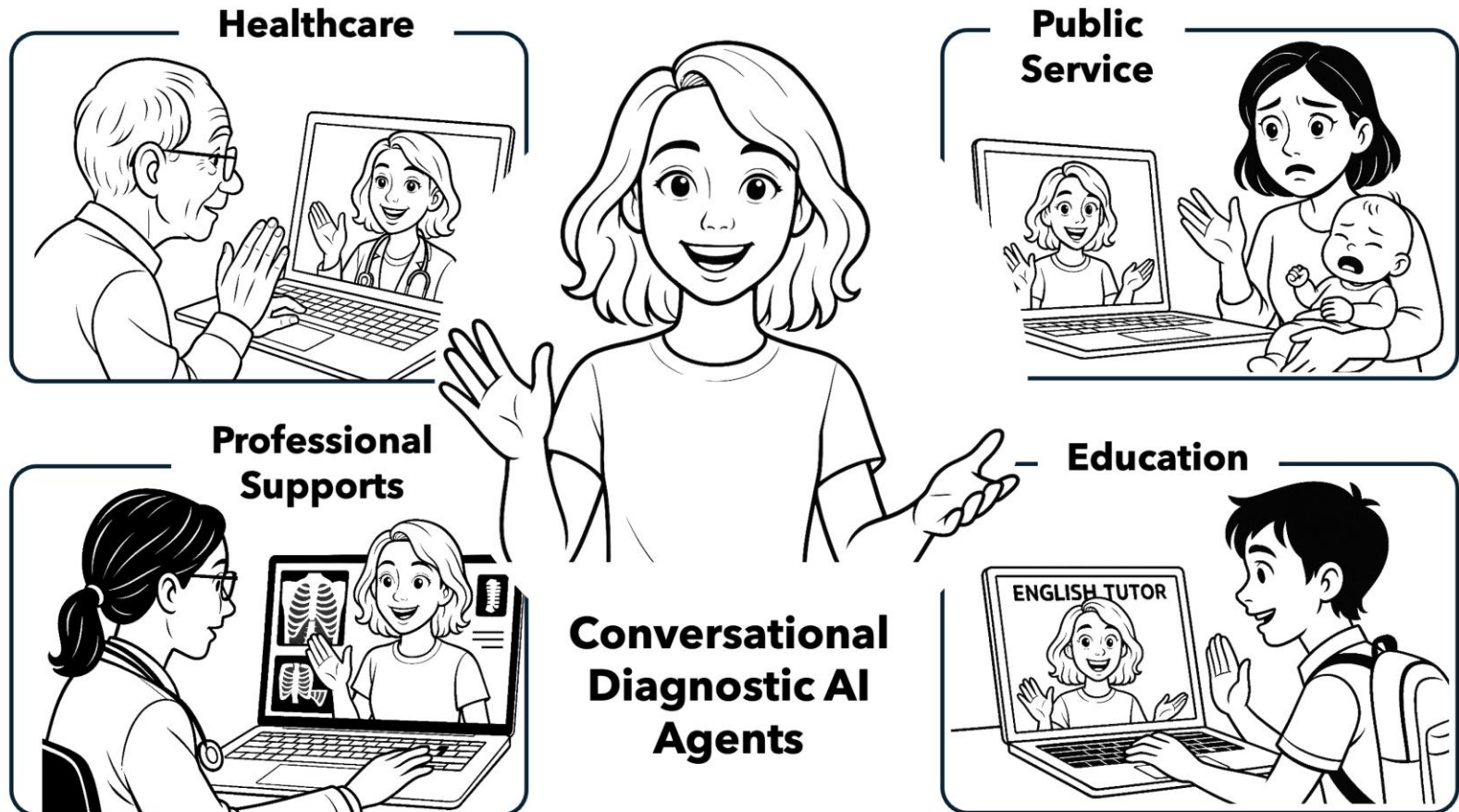
Plands

AI provides **conversation curriculums tailored to daily life and business situations.**



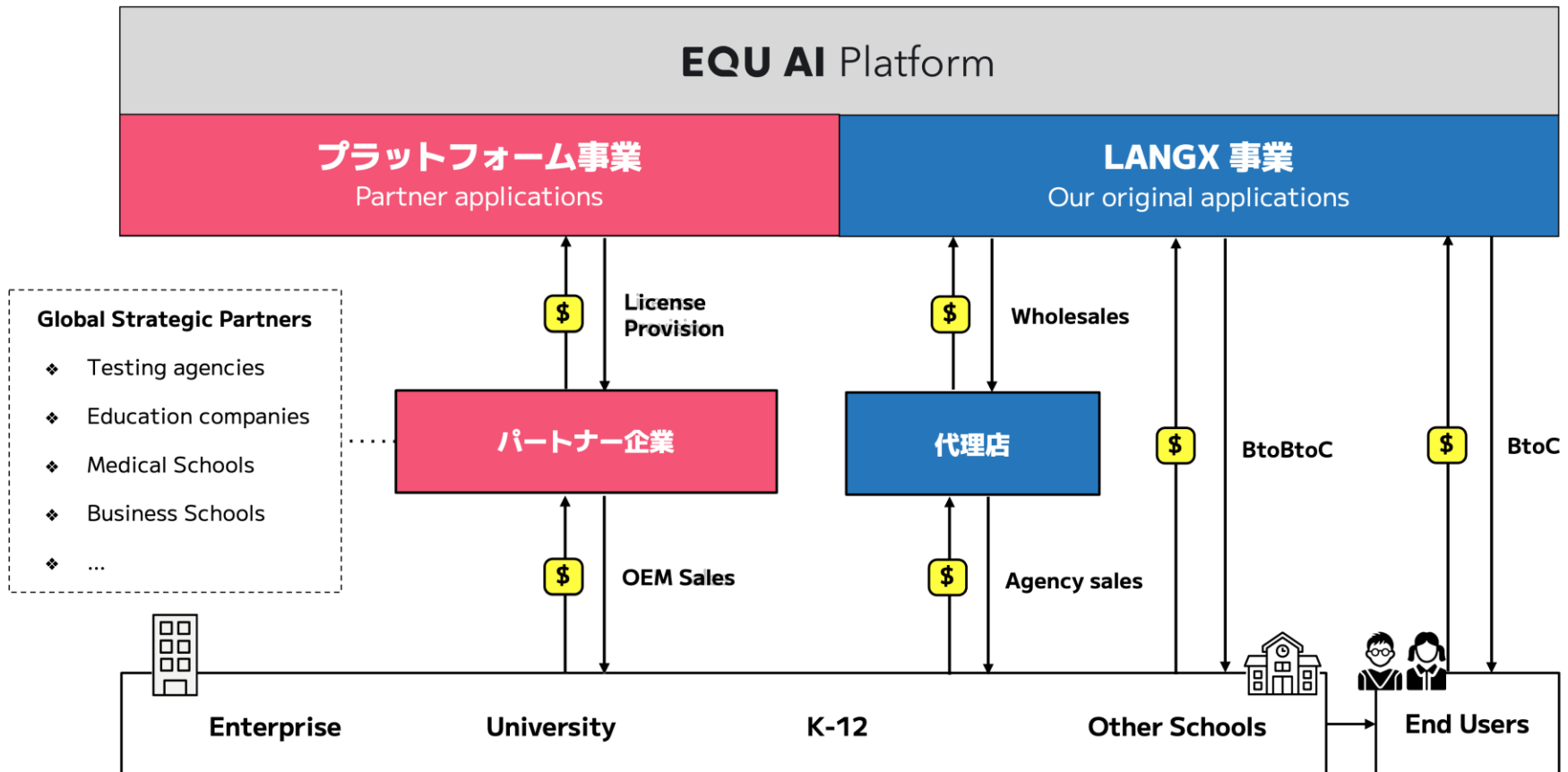
【製品・サービス: EQU AI プラットフォーム】

- **ビジネスモデル:** マルチドメインの対話型診断AIエージェント市場成長のため、オリジナルアプリケーション(LANGXなど)からサードパーティのアプリケーション搭載向けプラットフォームビジネスへ展開を進める。
- **提供サービス:** 主機能はサードパーティのアプリケーションを使用し、能力診断、インタラクティブなやりとり、試験や能力判定などをプラットフォームの機能として提供する。



【製品・サービスの実績: EQU AI プラットフォーム】

- **採用状況:** LANGXは、自治体・大学等へのBtoBtoCビジネスの他に代理店を通して公立、私立学校に販売する**ホールビジネスも展開中**。LANGXビジネスをベースとして、サードパーティにEQU AIプラットフォームを提供するライセンスビジネスも拡大中。2025年には**教育関連企業複数社とパートナーシップ締結済み**。



【今後の事業展開】

- ビジョン: AIと人間の共進化社会において、人間の能力診断し、能力を引き出すソリューション、例えば、教育、ヘルスケア、行政分野などヒューマンキャピタルが直接的に産業構造に影響を与える領域において、対面的な診断やトレーニングを実施し、**人間の能力を最大限に引き出し、組織を支援**する。
- 技術開発: **EQU AI統合プラットフォーム完成** (能力判定、対話シナリオ、体感品質管理、エージェント、多言語化)
- 拡大戦略:
 - ✓ 機会の拡大(会話体験、診断体験)
 - ✓ パートナー社の拡大(国内外)
 - ✓ 地域の拡大(アジア、ヨーロッパ地域での言語教育向けなど)
 - ✓ 事業領域の拡大(ヘルスケア、医療、行政など)
- エクジット: 2028年以降を想定。事業進捗見ながらじっくりと準備。

【SBIRについて】

- SBIRの意義: SBIRに限らず国の支援制度は研究開発のフェーズ別に多数ある。計画的に成果を切り分け、各研究開発フェーズのファンド獲得につなげていくことが可能。**JST、NEDOの事業は資金のない状態からでも事業化に向けたチャンスが得られるところが素晴らしい。**
- SBIR活用の意図: 意図的に国の制度を生かし切ろうと考えた。取れなかったチャンスも多数あったが、当初計画に近い形で研究開発、事業化を進めることができた。**SBIRフェーズ1支援**は管理系技術開発の起点になった事業であり、統合プラットフォーム開発に**大きく貢献した**プロジェクトとなった。
- SBIRに対する要望: 省庁ニーズに沿った開発成果を政府調達のような形で**国に還元して初めてSBIRはワークする認識**。この意味ではEQU AIプラットフォームを国家的な課題解決のためのインフラに組み込んでもらうことにより成就するのではないか。このような**成果活用の方法を相談、アピールする国の窓口がほしい**。内閣府、文科省などと当面会話をしていきたい。